

大阪北部地震からちょうど1か月たちます。  
メールをいただきながらなかなか近況もお知らせせずでした。

都会という事もあるのか、物資などの苦労は2・3日で解消、ガスが1週間通らないという中で給食再開ができず保護者の職員も風呂が入れずの日でした。

当日と地震後1日だけ休園措置を取りましたが3日目からは夜間保育以外で夕方までの保育をしました。

3週間は園内でも防災頭巾とヘルメットを保育者が持って移動の生活で、余震の恐れに少し精神的にしんどい時期がありました。

キャンプ・バザー様々な行事の中止や延期の判断が毎日のように迫られひとつひとつみんな決めて進んできました。

まだブルーシートの家も多いです。週1回小さな余震がありますがこのまま収束してほしいです。

そんな中での水害……言葉になりません。

何かしなくてはと思いながら何もできず昨日長瀬先生に連絡すると全国委員会で話になったと聞きました。音楽の分科会で提案してくれたひだまり保育園の壇野さんの発信で土嚢袋やハイター・マスク・手袋の不足を発信されていましたが日々変わるでしょうから、かえって迷惑になってもと思いとどまっています

地震・水害に続き毎日37度明日は38度にもなるという天気予報にうんざりしています今はクーラーの部屋での保育やプールで体を冷やしつつ保育をしています。立ちもなく熱風の中で子どもの健康と命を守る保育園の重要性を改めて感じます。こんな厳しい状況の中で、被害にあわれた広島・岡山をはじめとする水害被害の方々の後片付け……想像を絶するものがあります。全国保問研に結集して何かできる事をと思っています。

さいごに、保問研全国集会で聞いた阪神大震災・東北の地震の経験、とりわけ直近の熊本の地震とその地震後の保育の経験談がいかされたことがありがたかったです。

ほづみ保育園 坂手佳子